

平成24年度 河川水辺の国勢調査(植物)

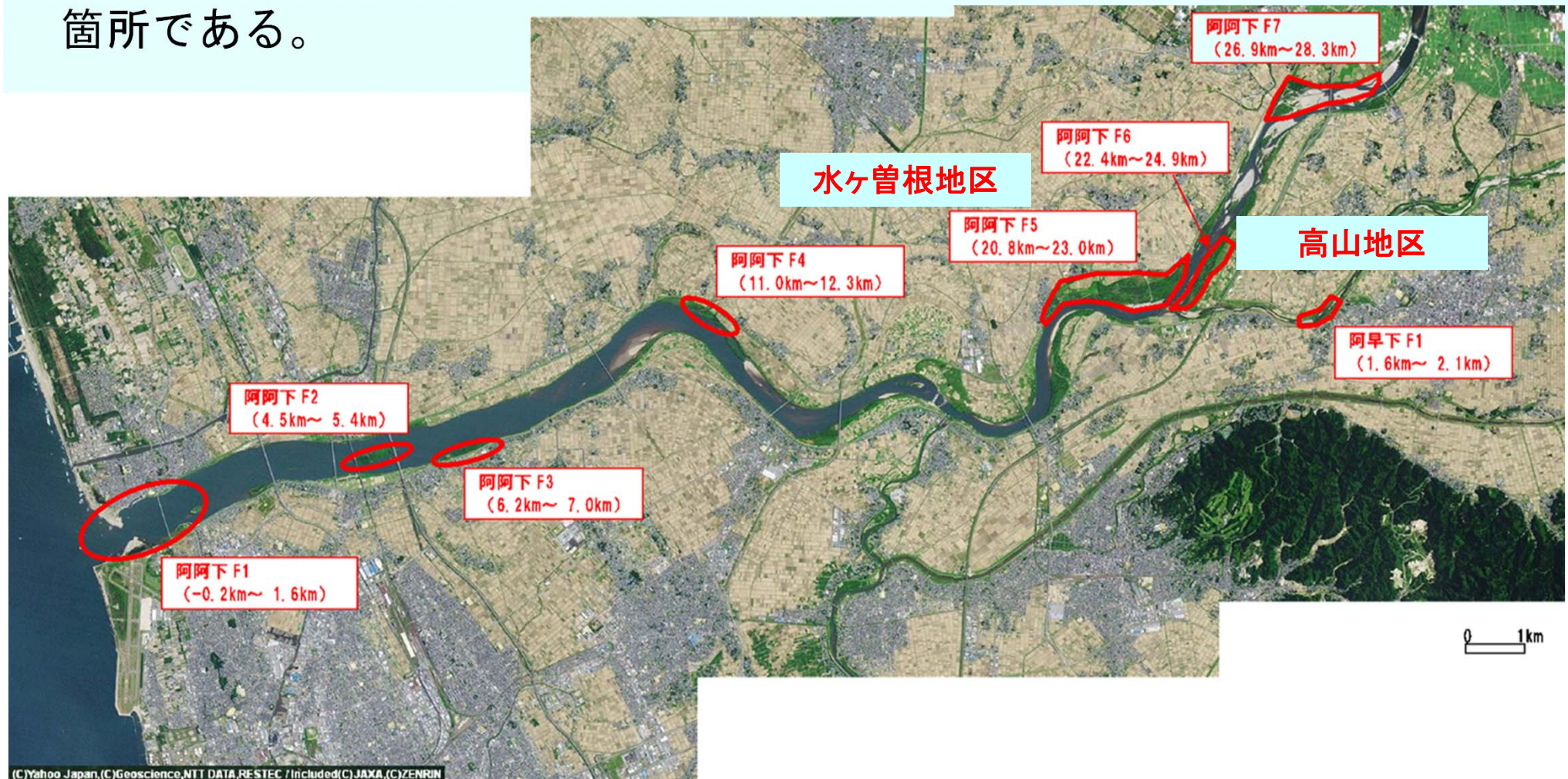
結果速報



阿賀野川河川事務所

平成25年1月

- ・平成24年度は、植物相調査を8箇所、植生図作成調査を全域で実施した。調査は、平成19年度以来、5年ぶりに実施。
- ・うち、F5地点は、本年度に樹木伐採した水ヶ曽根地区、F6地点は、平成22・23年度に伐採した高山地区である。いずれも自然再生事業予定箇所である。



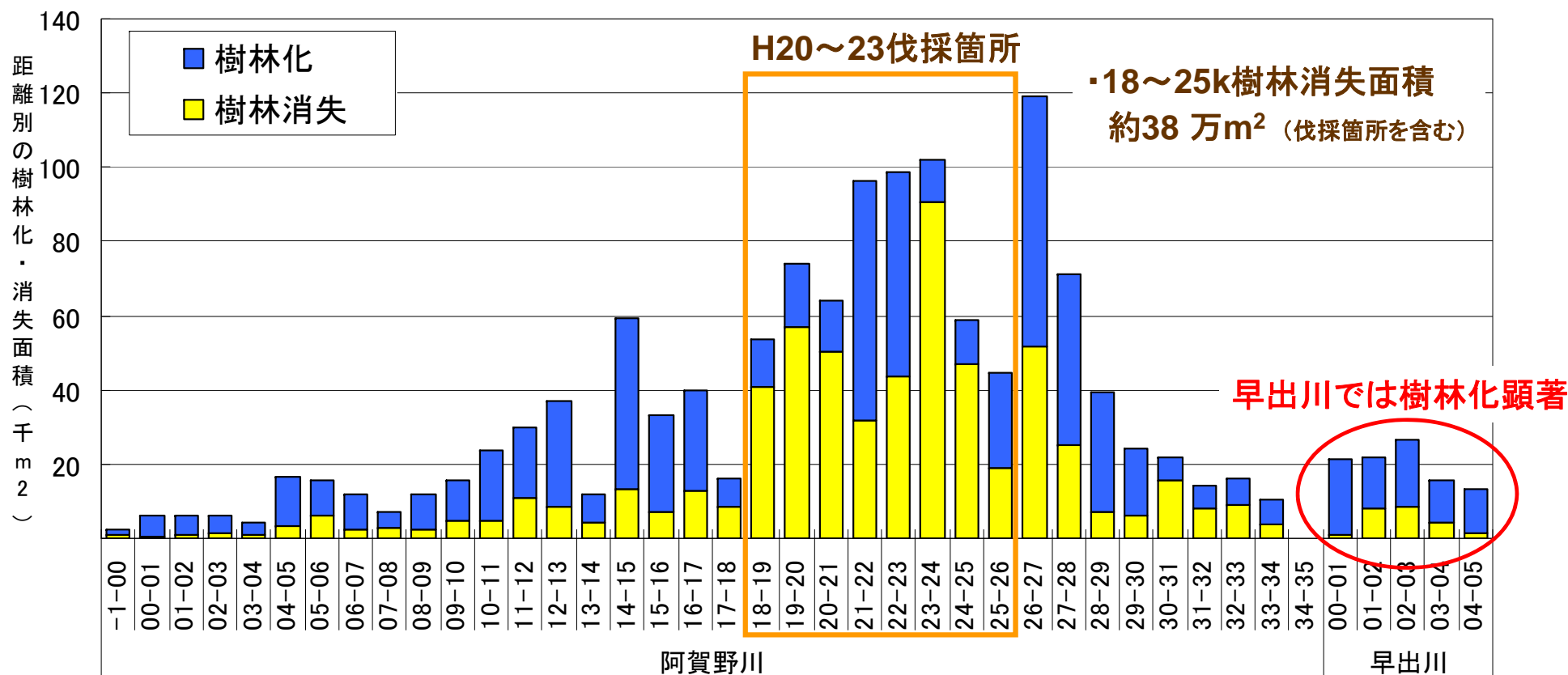
平成24年度 植物相調査地点図

- ・ 水ヶ曽根地区の水際には、湿生植物の重要種が生育していた。
- ・ H23.7新潟・福島豪雨により、新たに、湿性草地環境が形成された可能性がある。
- ・ 伐採は、樹木の地上部のみであり、湿生植物の生育箇所を回避するよう工事用道路を配置した。

- ・ 高山地区は、平成22・23年度に伐採し、1～2カ年が経過している。
- ・ 高山地区でも、水際には、湿生植物の重要種が生育していた。
- ・ F5地点水ヶ曾根地区と同様に、H23.7豪雨の影響によるものと考えられる。

2. 植生の調査結果 (1) 樹林面積の変化

- ・ 樹林消失と樹林化の進行は、ほとんどの区間で同時に発生していた。
- ・ 全域で樹林化が進行しており、早出川では樹林化の進行が顕著である。
- ・ しかし阿賀野川本川では、樹木伐採により、樹林面積がほぼ平衡状態に維持されている。



植生等面積の増減表 (H19→H24) 単位:m²

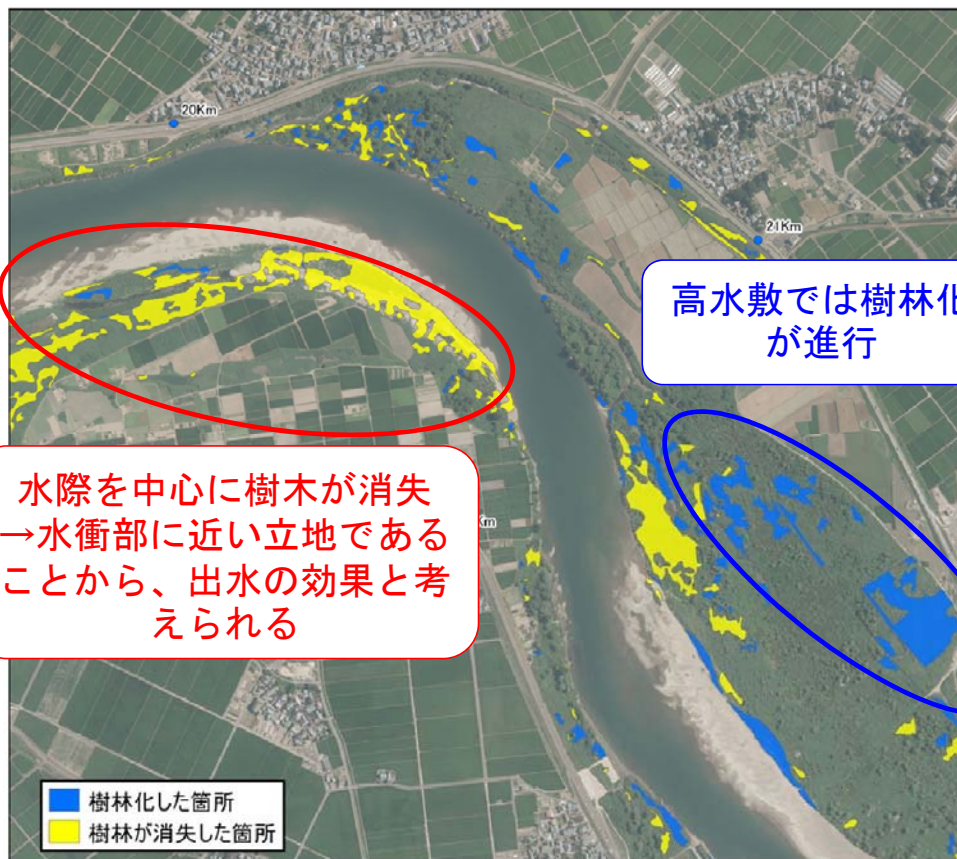
河川名	区分	分布面積		増減
		H19	H24	
阿賀野川	樹林地	2,619,890	2,706,130	103.3%
	草地	4,201,920	4,289,752	102.1%
	自然裸地	1,444,698	1,532,192	106.1%
	その他	21,450,721	21,189,157	98.8%
早出川	樹林地	98,130	163,030	166.1%
	草地	437,302	342,998	78.4%
	自然裸地	86,339	56,553	65.5%
	その他	343,752	402,942	117.2%

1kmピッチでの樹林面積の増減 (H19→H24)

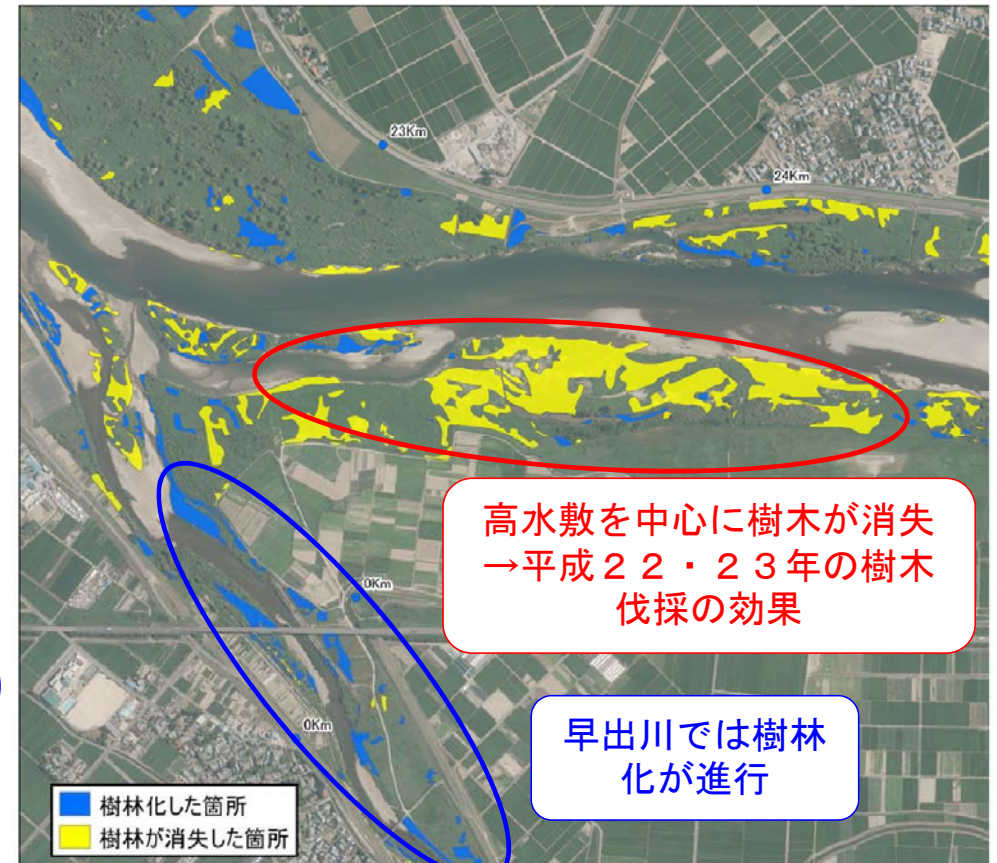
注記：樹林面積は、H24年度樹木伐採実施前の値

2. 植生の調査結果 (1) 樹林面積の変化

- ・ 樹林は、高水敷で増加し、水際で消失している。
- 樹林化対策は、高水敷での対策が望ましく、樹木伐採も効果的である。
- ・ 早出川では、樹林化の進行が顕著である。



早出川合流点の下流



早出川合流点付近、及び早出川下流部

樹林面積が変化した箇所の空撮写真 (H19→H24)

2. 植生の調査結果 (1) 樹林面積の変化

- ・ 樹林の消失は、滞筋に近い中洲や寄州などで発生している。
- ・ 中洲では、消失した樹林もあるが、進行した箇所もあり、樹林部分が移動したような状況にある。



安田橋下流 (26~28k付近)

樹林面積が変化した箇所の空撮写真 (H19→H24)